

生きとし生けるもの (1955)

メディア 映画
ジャンル ドラマ 文芸
製作国 日本
色彩 B&W
初公開日 1955/02/25

【解説】
山本有三による未完の同名小説を橋本忍が脚色し西河克己が監督した。1934年に五所平之助監督作品として一度映画化されている。後に監督として活躍する中平康、蔵原惟繕、浦山桐郎らが助監督として参加。
貧しいサラリーマンの伊佐早靖一郎は、会社から支給されたボーナスが額面より一万円多く入っていたことに気づく。しかし靖一郎はそれを、やはり困窮している弟の令二の月謝として払ってしまった。靖一郎が会社に出ると、会計課の菅沼民子が上司から責められ、一万円を穴埋めさせられていた。靖一郎は民子をデートに誘う。しかし民子は社長の息子である曽根夏樹の秘書となり、夏樹からプロポーズされた。靖一郎はそのことを知り自ら身を引くが、令二は兄のそんな態度が許せなかった。

【クレジット】

監督	西河克己	
製作	岩井金男	
原作	山本有三	
脚本	橋本忍	Shinobu Hashimoto
潤色	西河克己	
撮影	高村倉太郎	
美術	中村公彦 [美術]	
音楽	高田信一	
助監督	中平康	
	蔵原惟繕	
	浦山桐郎	
出演	山村聡	So Yamamura
	三国連太郎	曽根周作
	三島耕	伊佐早靖一郎
	山内明	伊佐早令二
	南寿美子	曽根夏樹
	東谷暎子	菅沼民子
	北原三枝	香取あき子
	村瀬幸子	八代恵美
	轟夕起子	菅沼さと
	笠智衆	南ゆき子
	宇野重吉	遠藤老人
	田中筆子	習作の父
	多々良純	下宿のおばさん
	清水一郎	会計課長
		営業課長

石黒達也
清水将夫
増田順二
田島義文
河上信夫
小田切みき

総務部長
業務部長
同僚初岡
同僚田辺
会計課員
会計課の君子